



あと一步の向上に向けた取組

函館市立椴法華中学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

基礎的・基本的事項を整理し、簡素でわかりやすい授業を工夫し実施する。
授業や単元の中で、学んだことを活用する場面を工夫し、言語活動を充実する。
学びの機会を充実し、望ましい学習習慣の定着を図る。

2 取組の概要

基礎的・基本的事項を整理し、簡素でわかりやすい授業を工夫し実施する。

身に付けさせたい基礎的・基本的事項を整理し、生徒が「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」をもつことができるよう授業を工夫した。

授業の中で既習事項を繰り返し取り上げることで、学習内容の確実な定着を図った。また、時間割の工夫で必要な授業時数を確保した。



学んだことを活用する場面を工夫し、言語活動を充実する

基礎的・基本的知識、読む・書く・話す力を習得させ、それらを活用する場面を意識した授業を工夫した。(学習活動の一連の流れの中で、理由や根拠を明らかにし、考察しまとめ、発表するなど)

学びの機会を充実し、望ましい学習習慣の定着を図る。

少人数の規模を生かし、生徒の自主的学習習慣を定着させるため、放課後・朝学習・宿題(家庭学習)で課題の出し方を工夫した。

また、休み時間や放課後の図書室を自習室として開放し、自主的学習態度の育成を図った。

3 成果()と課題()

学力向上の方策を校内研究と連動させることで、協同・継続した取り組みになり、開始時より少しずつ基礎的・基本的学力の定着がみられている。

調査では、宿題や予習・復習などの家庭での学習をしている生徒や、図書室で自学をする生徒の割合が上昇した。

各教科の根幹となる言語に関する力を容易には定着させられないことも明らかになり、次年度は今年度以上に効果的な指導を工夫する必要がある。